

## 臨床研究「婦人科がんにおける遺伝子・蛋白異常と治療反応性・予後との関連性の解析」について

筑波大学附属病院・婦人周産期グループでは、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

子宮体がん・卵巣がん・子宮頸がんなどの婦人科がんでは近年、その原因として様々な癌遺伝子・癌抑制遺伝子や蛋白の異常が報告されています。また、それらをターゲットとする分子標的治療薬が開発・臨床応用化され、その有効性を予測する分子マーカーの探索が行われています。それぞれの患者様に、より適した個別化治療を提供できるよう、当診療グループで治療および外来管理をしている婦人科がんの患者様の、腫瘍組織における癌遺伝子・癌抑制遺伝子や蛋白の異常の有無を調べ、治療反応性や予後などとの関連性を明らかにすることが、本研究の目的です。

### ② 研究の対象

当診療グループにおいて子宮体がん・卵巣がん・子宮頸がんなどの婦人科がんに対して治療を受けた方で、治療後の経過観察および追加治療または再発治療が可能である患者様。

### ③ 研究期間：倫理委員会承認後 ～ 2025年3月31日まで

### ④ 研究の方法

診療のために採取し保管されている腫瘍組織検体から DNA および RNA を抽出し、癌遺伝子・癌抑制遺伝子の異常の有無を調べます。また腫瘍組織検体から作製した薄切標本により免疫染色法により蛋白の異常の有無を調べます。化学療法・放射線療法などの治療に対する反応性や転帰などを診療録から調べ、上記遺伝子・蛋白異常との関連性を解析します。試料・情報はすべて匿名化して管理します。

### ⑤ 研究に用いる試料・情報の種類

診療のために採取し保管されている腫瘍組織検体、検査データ、診療記録等

### ⑥ お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

### 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：婦人周産期グループ・水口 剛雄

TEL：029-853-3073, FAX：029-853-3072（産婦人科医局 平日9：00-17：00）

研究責任者：筑波大学医学医療系 産科婦人科学 教授 佐藤豊実